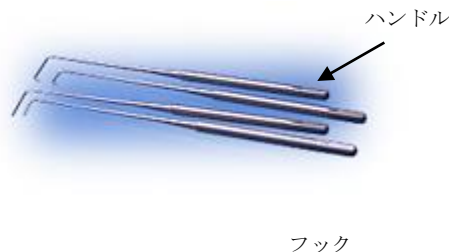


機械器具 38 医療用鉤  
 一般医療機器 鉤 コード：35105000 特定保守非該当  
**フック**

**【形状・構造及び原理等】**

ステンレス鋼

**\*【使用目的又は効果】**

軸様のハンドルをもつ手術器具をいう。ハンドルは様々な形状のものがあり、遠位端に向かって先細になっている。遠位部は丸い先端又は尖った先端に向かってカーブしているものもあれば曲がっているものもある。

**\*【使用方法等】**

&lt;使用方法&gt;

- ・ハンドル部を持ち遠位部を開心術中の心臓内に挿入し、弁の腱索をけん引する。

&lt;使用方法等に関する使用上の注意&gt;

- ・折損、曲がり等の原因になり得るので使用時に必要以上の力（応力）を加えないこと。
- ・電気メスをを用いた接触凝固は、術者が感電、火傷をする危険性があり、又、器械の表面を損傷するので、併用しないこと。

**【使用上の注意】****\*不具合・有害事象**

&lt;重要な不具合&gt;

- ・破損、変形、腐食、分解、変色、屈曲

&lt;重大な有害事象&gt;

- ・組織の損傷
- ・破損片の体内遺残
- ・感染症

**\*【保管方法及び有効期間等】**

- ① 貯蔵・保管にあたっては、洗浄をした後、腐食を防ぐために保管期間の長短にかかわらず必ず乾燥をすること。
- ② 滅菌済のものを貯蔵・保管するにあたっては、再汚染を防ぐため清潔な場所に保管するとともに、有効保管期間の管理をすること。

**\*【保守・点検に係る事項】**

1.使用者による保守点検事項

(1)動作、機能チェックの実施

本品は、日常点検及び使用点検前により、正常に機能することを確認してください。

(2)使用前に必ず洗浄・滅菌をすること

&lt;洗浄&gt;

- ①本品を使用後は、付着している血液、体液、組織薬品等が乾燥しないよう、また職業感染防止のために直ちに洗浄・消毒をすること。
- ②汚染除去に用いる洗剤は、洗浄方法に適したものを選択し、適正な濃度で使用すること。
- ③洗浄装置（超音波洗浄装置、ウォッシャーディスインフェクタ等）で洗浄するときには、接触による損傷を避けるよう注意すること。
- ④洗剤の残留がないよう十分にすすぎをすること。仕上げすすぎには、浄化水（ろ過、蒸留、脱イオン化等）を用いることを推奨する。
- ⑤洗浄後は、腐食防止のために、直ちに乾燥すること。
- ⑥塩素系及びヨウ素系の消毒剤は、腐食の原因になるのでできるだけ使用を避けること。使用中に付着したときには、水洗いすること。
- ⑦強アルカリ／強酸性洗剤・消毒剤は、器具を腐食させる恐れがあるので、使用を避けること。金属たわし、クレンザー（磨き粉）等は、器具の表面が損傷するので組織片除去及び洗浄時に使用しないこと。

&lt;滅菌&gt;

- ①使用（滅菌）前に、汚れ、傷、損傷等の異常がないか点検をすること。
- ②点検後、セット・包装をし、高圧蒸気滅菌をすること。

2.\*業者による保守点検事項

点検をご希望される場合は弊社担当者にお問い合わせください。それ以外の業者による点検は不具合の発生、性能・機能の低下を招くおそれがあります。

**\*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売業者：株式会社トライテック  
 TEL:03-5767-9831 FAX:03-5767-9839

製造業者：Genesee Biomedical Inc.  
 ジェネシー バイオメディカル インク  
 アメリカ